【口絵】

画像からくり

Fig. 1 「エルモ」のキャラクターのフォトフレーム (TM and © 2009 Sesame Workshop 中国製 UNIVERSAL STUDIOS JAPAN ®)

Fig. 4 回転機構を持った立方体形のフォトフレーム

Fig. 2 アンティーク調針金細工のフォトフレーム (オフノン off&on)

Fig. 5 写真を外し電池ボックスを露出した状態

Fig. 3 ピアノと楽譜を配したフォトフレーム (株)ノブ・カンパニー NOB Co., Ltd)

Fig. 6 二つ折りのハウス形のフォトフレーム

口絵解説

「画像からくり」

第60回 フォトフレーム その2

60 Photo Frame 2nd

桑山 哲郎 Tetsuro KUWAYAMA

生活の中で写真を楽しむに当たり、フォトフレームは大変重要な役割を果たしている。前回の連載、第31回¹⁾と同様な書き出しになってしまった。フォトフレームに正面から向き合うと、多種多様という言葉では言い表せない程広がりがあることに気付く。今回は前回は報告していなフォトフレームを紹介する。

Fig. 1をご観いただきたい。セサミストリートの人気キャラクター「エルモ」が、フォトフレームを持っている。読者の皆様には意外だろうが、キャラクター人形のフォトフレームは大変数が多い。このフォトフレームは葉書サイズ対応で、分かりやすい様カードを挿入途中の状態にして撮影した。UNIVERSAL STUDIOS JAPAN®の表示が枠に記入されているが、ユニバーサルスタジオ内限定で販売されている商品と思われる。フォトフレームを手を持っていることで、まるで生きている様な姿勢を取らせることができる。

Fig. 2は、アンティーク調の針金細工のフォトフレームである。葉書サイズ対応で、“off&on”という表記があるが国内メーカーの商品である。Fig. 3はピアノ、楽譜と音符を配置しアート作品風に作り込まれている。“NOB Co., Ltd.”とアルファベットの表記があるが、国内メーカーの商品である。Lサイズプリント対応である。写真を飾らない状態でも、丁寧な作り込みを眺めることができ、楽しめる。

写真用品の展示会では大変目を惹くフォトフレームがあり、手にしてみたいと思っていたのだが幸運にも、執筆準備を始めて早々リサイクルショップで入手することができた。Fig. 4は一辺100mmの正方形の写真を6枚収めるフォトフレームで、左は本体、右はパッケージである。実に23か国語で商品名が表記されていて、英語表記は“Automatic rotating foto cube”となっている。メーカーはオランダのA. I. & E. とあるが詳細は不明で、販売ラベルにはABOKO, MADE IN CHINA, (株)遊心クリエイションとある。この会社は2002年から2016年まで存続した会社で、ABOKOはそ

の雑貨販売部門ということが分かった。電池を入れる方法の説明書がパッケージ外部に張り付けられていて、正規に輸入販売された形そのままの様である。

このフォトフレームは世界各国で同じ商品が販売されている様子で、回転している動画を含めweb上で各国の情報が見つかる。大変割り切った設計であることを、Fig. 5に示す。赤ちゃんの顔写真を外すと単3電池のボックスが現れ、電池を入れると黒い円筒形の部品が回り出す。この部品を下にテーブル上に置くと、反時計方向に回り続けるのだがオンオフのスイッチは無い。どんな内容の6枚の写真を揃えればいいのか、想像力が働かないが回転していない状態でも目立つルームアクセサリーである。

今回はかなり変わった形をしたフォトフレームを取り上げたが最後に、写真を入れなくても楽しめる商品を取り上げたい。Fig. 6は“Twin House”という文字がある二つ折りのフォトフレームである。リサイクルショップで入手したので素性は不明であるが、サンプルとして入っている自転車の写真が見事にマッチしている。手前のガラス板と奥側のプラスチック板の間にプリントを挟む構造となっている。二つ折りのツインフレームという分類のフォトフレームは多数存在し、ほぼすべてが長方形枠なので、家の形をした商品は大変珍しい。

以上、変わった形のフォトフレームを紹介した。こうしてみると家庭内に置かれている物はどれでもフォトフレームになる可能性があると思える。改めて、「写真を飾る行為は生活文化の一部であり、フォトフレームは写真を楽しむ最前線に位置している」と前回¹⁾同様の主張をして終わりたい。

参 考 文 献

- 1) 桑山哲郎, 画像からくり連載第31回「フォトフレーム」, 日本写真学会誌, 第78巻4号, 215 (2015).